

第3回FIWC関東委員会定例会議事録

【日時】 2008年3月20日(木)13:00～16:00

【場所】 泉岳寺キリスト教友会 (第二部 さくら水産)

【出席者】 司会緒方健太、田中三津子、矢部后代、吉田亮輔、林尚徳、田中佐代子、雨宮広樹、荒木津香佐、河内亜依、近原弘芳、書記鈴木美和子

- 【議題】
- ①全生園お花見について
 - ②FIWC 関東委員会の全体方針について
 - ③会計について
 - ④フィリピンキャンプ下見報告
 - ⑤BOS きっかけゴロゴロフェスタについて
 - ⑥自然王国について
 - ⑦次回定例会について

① 全生園お花見について (緒方、吉田)

毎年恒例の多磨全生園で行われるお花見について。
以下、内容詳細。

～全生園で「お花見会」ご案内～

呼びかけ人 水沢寿郎、森元美代治、菊谷節夫、木村仁、
熊本健吾、宮内清之、吉田亮輔

- 日時 4月6日(日) 12時
準備を手伝うことができる人は11時に集合
- 場所 全生園「ハンセン病資料館」横の花見会場
- 参加費 2000円(ただし現役キャンパーは1000円です)
飲み物など持参大歓迎

※呼びかけ人に出欠席をお知らせ下さい。

(案内資料より抜粋)

持ち物について

- ・ イベントの中で最も人数の集まる会。FIWC 以外の活動団体も集まる。 よって活動を知ることができるような資料(写真・報告書等)を持参したほうが良い。
- ・ 人数が非常に多い。名刺などの個人の名前をアピールするものを持参した方が良い。

ハンセン病資料館見学について

- ・ 敷地内にあるハンセン病資料館を見学したい者は10時に資料館前に集合とする。(この時間ではなくとも花見の最中にも見学することは可能。)

告知法

- ・ 各キャンプに掲示板等を活用し、知らせる。(緒方)

②FIWC 関東委員会全体方針について (緒方)

- ・ 「常に新しいものを生み出していきたい」
古いものに捉われない。それぞれがやりたいことを積極的に提案し、実現していけるような団体にしたい。

提案

- ◎ 定例会の司会の当番制。形式は指名制。前の会の司会が次回の司会を指名する。

③会計について (緒方、田中三津子)

前回到引き続き、年会費を徴収するか否かについて。

徴収反対意見

- ・ 用途が明確ではない、必要性を感じない。
- ・ 九州委員会では会費をとっていない。
一般会計 (フリマ・講演料・カンパ)
特別会計 (20万のプール金、非常時用、使用した場合は臨時徴収)
会費を徴収しなくても成立する。

賛成意見

- ・ 金銭の負担が現役キャンパーのみの負担になる。
- ・ 会費を支払うことでOBも参加している感覚がもてる。
- ・ 余裕があることで、それを使って交流会をひらくことができる。
- ・ 収入が安定する。
- ・ より多くの人 (現役だけ、海外キャンプに参加した人だけに留まらない、OBを含む) を巻き込んで活動ができるのではないかな。
- ・ 会費からワーク費を補助できる。可能性が広がる。

*** FIWCであることのメリット ****

- ・ 歴史がある、形がある、周囲からの信頼がある。
- ・ 新しいものを作り出すには労力がかかる。もったいない。
- ・ 人とのつながりがある。FIWCであることで出会えるたくさんの人がいる。

会費の具体的な使用用途は？

現在

- ・ 会報発送費
- ・ 会場費

—————→ Web化により発送費は大幅に削減できる (年間約10,000円の経費)

期待される会費の用途

- ・ 自然王国 (レンタカー代、肥料代、種苗代)
- ・ フィリピン、中国キャンプ、関東委員会のWEB運営費
- ・ ポスター、ピラ
- ・ 報告書代 (紙印刷代)

- ・ 緊急用に使える予備費
- ・ イベント代
- ・ 年末キャンプのレンタカー代
- ・ 定例会場所代
- ・ 通信費（振込用紙等）



予算案（仮）		
・ 自然王国	—————	¥100,000 （半年間¥50,000）
・ 広報費用	—————	¥30,000 （各キャンプ¥10,000）
・ WEB 運営費	—————	¥30,000 （各 WEB ¥10,000）
・ 通信費	—————	¥50,000
・ 年末総会経費	—————	多少
<hr/>		
・ 合計		約¥210,000

誰から徴収するのか（会費をとる仮定のもとに）

- ・ OB と現役キャンパーから徴収
（現役からももらうことで、FIWC であることの意識づけが行える）
- ・ OB のみから徴収

いくら徴収するのか

- ・ OB から ¥1,000 現役は ¥500

回収方法は？

- ・ 花見に参加した者から回収
- ・ キャンプに参加した者から回収
（国内キャンプに、例えば自然王国の活動に1回のみ参加した者にも支払わせるのか）
- ・ FIWC の名簿に名前が載っている者全員に振込み用紙を郵送する。
（振り込む気のある者からのみ回収）

以上、議事途中。次回に続く。

④フィリピンキャンプ下見報告 (雨宮)

決定事項

◎キャンプサイト → レイテ島 「ルンダック」

◎ワーク内容 → モーターシステムの設置

- ・ 3週間の下見。9, 10の村をまわってきた。
- ・ ワーク期間は3～4週間。
- ・ ワークだけではなくホームステイなどの交流も行う。
- ・ 市の協力を得てワークを行えることになった。

(Phase1) タンクの設置 (Phase2) ラインの設置 (Phase3) 各家庭への供給

そのうち FIWC が担当するのは (Phase2)。後は市が作業・管理を行う。自己満足で終わるのではなく、キャンプ以後も維持、管理が為されるように準備を行ってきた。市と密接に関わることで、ワークキャンプの期間的な限界を乗り越えることができる。他にもキャンプサイトの候補はあったが、市と関わることでできるワークの可能性のために、今回はモーターシステムのワークを選択。

- ・ FIWC が払うのは材料費のみ。人件費は支払わない (人材は FI の活動に協力してくれる村の人のボランティア)。材料費は7万ペソ (約25万)。
- ・ 話し合いを行ったのは市だけではなく、ワークを行う村でも。村人の意識づけ。
- ・ もう1つのワーク候補に架橋ワークがあった。こちらは先に述べた都合で除外したが、ワークはできなくとも予算を寄付するという形で関わることを予定。
→日本にある他のNGOにそのニーズを紹介してみてもどうか?

⑤きっかけゴロゴロフェスタ (緒方)

学生団体 BOS (Bridge Of Smile) の企画する、イベント「きっかけゴロゴロフェスタ」に参加することが決定。国際協力活動を行う様々な団体が集まり、学生向けに団体の紹介を行うイベントである。

【日にち】4月19日 (土)

【参加人数】5名

プレゼン時間は各団体1分間。提示できる画像は一枚。プレゼン時間終了後、各ブースに分かれ参加者が自由にブースを訪問し、より詳しい団体説明を受ける仕組み。

FIWC からの参加は、委員長の緒方健太、ネパールキャンプより2名、中国キャンプより1名、フィリピンキャンプより1名を予定。イベント責任者は鈴木美和子 (ネパールキャンプ)。以後参加者を募る。

⑥自然王国について (高橋真代 代理：緒方)

4月1、2日に一泊二日で畑作りに自然王国を訪問。
現在6名ほどの参加予定。交通手段は車。

⑦次回定例会について

【日時】2008年4月12日(土)

13:00～17:00

【場所】カフェ・ムー

【司会】田中 佐代子

【文責 鈴木美和子】